こども園における自己評価 八尾市立安中ひかりこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標に	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・目標は実態に応じて具体的に設定するようにし、全職員が共通理解している。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図って いるか	4	
***	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・指導計画については、子どもの実態に応じて丁寧に立案し、具体的に作成した。また、担任だけでなく主幹保育教諭、管理職も共に検討し、1年間通して子どもの育ちに添った指導計画になるようにした。・環境づくりは、子どもの成長に合わせて適宜適切な環境づくりを心がけている。また、常に視野を広くもち、子どもたちの要求にすぐに答えられるようにしている。・子どもの姿を肯定的に見取ることを全職員で意識し保育している。その保育姿勢を丁寧に続けていることで、子ども同士のかかわりや内面の育ちもみられた。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ(ディリープログラム等)は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
教 育 •	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
保 育	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
C 内 容 に	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
にっ	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
いて	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全につい	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・調理員、栄養士とともに食に対しての関心が高まるようなあたたかな言葉をかけたり、子どもの実態に応じた栄養指導を行ったりしている。掲示物を活用することで、保護者啓発も丁寧に行っている。 ・保健指導や避難訓練、交通安全指導については年間計画をたて、その計画に添って訓練を実施し、子どもたちの意識を高める取り組みを進めている。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策(発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等)を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
7	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	・研修会については、職員のニーズを把握し、必ず一人1回は参加できる体制をとった。また、参加した職員が、園内でフィードバックする機会を設け、園全体の職員で共有できるようにしている。
資質向 上 上	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
向見上の	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
T#h	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・それぞれの立場で効率的に職務が担える は ように計画的に進めてきた。また、その
職員運	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
間営 に管 つ理	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
り埋 い・ て	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の 運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に 検証・見直しをしているか	4	
の守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	・個人情報の取扱いについては、日頃より 全職員で意識し取り組み、適切に対応して
の 導 守 秘 義 務	・公文書収受、発送、処理を適切に行っているか	4	- いる。 -
」 ['] 務	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・地域の行事も再開され、近隣の小中学校やこども園との交流も、地域連携コーディネーターが窓口となり、相互にはいるいをもって計画的に進めてきた。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことが できるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互恵性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・地域交流や一時預かり保育を実施し、地域の未就園児の子どもやその保護者に対して保育を提供したり楽しい交流の場となるように工夫してたりしている。また、育児相談も実施し、育児に対する不安を取り除けるよう努めている。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を 提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	発報 信の	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をして もらうよう努めているか	4	4 ·ホームページで情報発信し、保護者に園の教育・保育を理解していただけるよう努力がでいる。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について 知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
	外 部	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・保護者アンケートを実施したり、第三者委員の意見を反映し、園運営に生かしてい
	評価	・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	ి .
	拓	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・毎月、月初めに安全点検を実施し、安全 確保を行っている。 ・年間計画の中に、火災や地震、不審者の は避難訓練を毎月位置づけ、災害時に迅速 ーに避難できるようにしている。 1・掲示物等の情報は、保護者の目につくと ころに貼るようにし、情報発信に努めてい
彭•	施 設 ・ 設 備	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4	
		・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4	
	ım	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4	ే ం
経理	出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	・マニュアルにのっとり、適切に処理している。

成果

- 〇令和4年度、5年度の2年間、幼児教育研究の研究園として研究を行った。研究テーマを『かけがえのない一人ひとりを大切に ~あったかさで心つながるひかりっこ~』とし、 常盤会短期大学 非常勤講師保田維久子先生を招聘し指導助言を受け、保育の質の向上に向け全職員で研究に取り組み八尾市の就学前施設や小中学校・近隣自治体に向け て情報発信し、切磋琢磨しながら保育の質の向上に向けて学び合えた。
- 〇年度初めに各学年で"育てたい子ども像"をかかげ、その子ども像に向かって1年間保育していくことを全職員で共通理解した。そして、それをより具体的に月案や指導計画、 指導案に落とし込み、1年間つながりをもちながら"育てたい子ども像"にむけて保育を進めていくことができた。
- |〇園内学習会や研究推進会議では、自園の課題について出し合い、年間計画をたてて話し合いを進め職員一人ひとりの意識改革を行った。
- 〇人権学習会では、『人権擁護のチェックシート』を読み込み、全職員でチェックを行った。また、この『人権擁護のチェックシート』を活用する目的について、一人ひとりの職員が 意識しながらチェックできるようにしたり、自分の保育を振り返ったりする機会になるようにした。
- 〇保育の見える化に取り組み、ホームページの更新頻度をあげたり、園だよりの内容充実、園長だよりの発行数を増やすなど保護者への信頼関係づくりを大切にしてきた。保護 者アンケートの数値からも概ね良好な結果が表れ成果を感じている。

課題

- ○懇談会は、保護者が園に対しての理解を深める貴重な機会なので、子どもの様子や保護者支援、保護者同士のコミュニケーションの場など、多岐に渡ることを理解しながら進めていく必要がある。担任一人ひとりが、懇談会の意義を理解し、内容を工夫をしながら丁寧に進行することで、保護者に園の方針を理解していただける機会となるように進めていくことが課題である。
- ○各クラスにある『お散歩マニュアル』の活用について、再度、危機管理と安全面に配慮できるように全職員に周知徹底していく。

改善策

- ○懇談会についての意義を一人ひとりの保育者が理解し、子育て支援につながるような"ねらい"をもちながら実施し、参加した保護者が"有意義だった"と感じられるような内容の工夫をする。また、園に対しての理解を深めてもらう機会にしたり、保護者の養育力の向上につなげたりするように努める。
- |○『お散歩マニュアル』については、新年度に職員同士で読み合わせの時間をつくり、散歩経路や近隣の公園の情報について共有しながら安全確保に努め実施できるようにして |いく。